

労働市場の概要（令和4年7月）

岡山労働局 職業安定課
TEL 086-801-5103

雇用情勢

令和4年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.56 倍となり、前月と比べ 0.03 ポイント上昇した。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は 0.4%増加し、有効求職者数(季節調整値)は 1.4%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(9.5%減)、宿泊業、飲食サービス業(1.1%減)で減少となったものの、製造業(8.1%増)、運輸業、郵便業(13.7%増)、卸売・小売業(12.0%増)、医療、福祉業(6.3%増)、サービス業(他に分類されないもの)(6.2%増)で増加したことから、全体では対前年同月比で 7.8%増となり、9か月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、対前年同月比で 6.1%減となり、3か月ぶりの減少となった。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は 1.56 倍となり、前月に比べ 0.03 ポイント上昇。

(1) 有効求人(パートを含む)

- 7月の有効求人は 45,242 人で、対前年同月比(原数値比較)で 11.5%増加し、対前月比(季節調整値比較)では 0.4%増加した。
- 対前年同月比(原数値比較)で9か月連続の増加となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

- 7月の有効求職は 30,519 人で、対前年同月比(原数値比較)で 1.8%増加し、対前月比(季節調整値比較)では 1.4%減少した。
- 対前年同月比(原数値比較)で 25 か月連続の増加となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は 1.23 倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は 2.71 倍となり、前月に比べ 0.04 ポイント上昇。

(1) 新規求人(パートを含む)

- 7月の新規求人は 16,263 人で、対前年同月比(原数値比較)で 7.8%増加した。
- 対前年同月比(原数値比較)で9か月連続の増加となった。
- **産業別新規求人状況**(対前年同月比)は、

建設業	9.5%の減少	(2 か月ぶりの減少)
製造業	8.1%の増加	(16 か月連続の増加)
運輸業・郵便業	13.7%の増加	(6 か月連続の増加)
卸売・小売業	12.0%の増加	(9 か月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	1.1%の減少	(3 か月ぶりの減少)
医療・福祉	6.3%の増加	(5 か月連続の増加)
サービス業	6.2%の増加	(3 か月連続の増加)
(他に分類されないもの)		

(2) 新規求職(パートを含む)

- 7月の新規求職は 5,820 人で、対前年同月比(原数値比較)で 6.1%減少した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は 604,676 人で対前年同月比 0.4%減少し、17 か月連続で減少した。
また、受給者実人員(基本分)は 6,773 人で、対前年同月比 10.9%の減少となり、受給率は 1.1% となった。